双葉西小だより

令和６年　２月　２日　文責　学校長　窪田　正幸

暦の上ではもうすぐ春・・・

２月になりました。２月は，俳句の季語で表すと，「残雪」「流氷」など寒さを表しているものもありますが，「立春」「初春」「早春」「梅」など春の訪れを感じられるような言葉もあります。また，２月は旧暦の月名だと「如月（きさらぎ）」といいます。如月の語源には，寒さのために着物を重ねる「衣更着」が元になっているという説もあれば，春めいて陽気が盛んになる時季を意味する「気更来」，暖かい日差しに向かい草木が生えるという意味の「生更木」など様々な由来があるそうです。意味はそれぞれに異なりますが，厳しい冬を超えて，春の訪れを感じる季節だということがわかりますね。静かな気持ちで自然と向き合いながら，草木も動物たちも，そして私たちも，目覚めの季節への準備を始めるタイミングかもしれません。

さて，学校ではどの学年も１年間のまとめに入ります。学習面，生活面等において，一人一人の子どもの成長を確かめながら，進級，進学に向けての希望を大きく膨らませることができるよう指導して参りたいと思います。保護者の皆様，地域の皆様のあたたかいご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

今年度最後の授業参観・学年部会

以下の日程で行います。子どもたちが真剣に取り組んでいる姿や成長した姿をぜひご覧ください。また，学年部会も開催します。最後までご参加いただけますよう，重ねてお願い申し上げます。

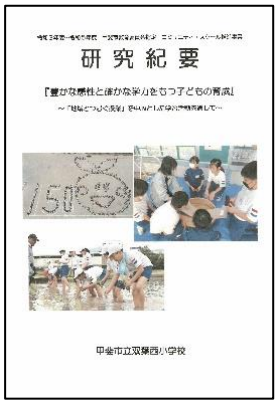
２月　６日（火）	１年生		３年生	
	授業参観	学年部会	授業参観	学年部会
	13:20~14:05	14:15~14:45	14:45~15:30	15:40~16:10

２月１３日（火）	５年生		６年生	
	授業参観	学年部会	授業参観	学年部会
	13:20~14:05	14:15~14:45	14:45~15:30	15:40~16:10

２月２０日（火）	２年生		４年生	
	授業参観	学年部会	授業参観	学年部会
	13:20~14:05	14:15~14:45	14:45~15:30	15:40~16:10

コミュニティ・スクール　公開研究会

令和３年度から３年間，甲斐市教育委員会より指定を受けました「コミュニティ・スクール推進事業」が区切りの３年目を迎えました。そこで，コミュニティ・スクールとしての活動の成果と課題を教育関係者に公開することを目的としまして，先月２６日（金）に公開研究会を行いました。当日は市教委，講師，学習支援ボランティアやゲストティーチャー，甲斐市を中心とした教職員等，３０名を超える皆様にお出でいただき，全体会から研究会まで無事に終えることができました。お忙しい中，本校公開研究会のために足を運んでくださいました皆様には心より感謝申し上げます。



また，この公開研究会実施に至りますまで，学校応援団の皆様をはじめ保護者や地域の皆様方にも，様々な場面でご支援をいただきました。この場を借りて，学校を支えていただいているすべての皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

当日の様子

～～　公開授業前の概要説明　～～

公開授業前に，家庭科室において，研究主任の足達教諭が２０分ほどで，取り組みの概要について説明をしました。学校運営協議会と学校支援地域会議（学校応援団）との密接な関わり，子どもたちが地域とつむぐ授業の有用性を強く感じていること，地域とつむぐ授業を通して身に付けさせたい力等について，プレゼンテーションを行いました。また，山本ＣＳコーディネーターが，自身の役割や学校応援団活動の実際について説明をしました。平成２４年度の県下初のコミュニティ・スクールとして活動を始めてからの１２年。社会の情勢や教育の動向に沿いながら，その時代に即した活動へと改善させていることが伝えられました。

～～　研究授業（３年２組）　～～

社会科　かわる道具とくらし

３年生の社会科における地域学習では，校区探検をして地域の様子を地図にまとめたり，働く人達にインタビューして，その工夫や願い等について考えたりするなど，体験的な学習をしてきました。今回の単元「かわる道具とくらし」では，調べ学習や聞きとり学習を通して，道具という具体物を通じた「人々の生活の変化」を捉えさせていくことが目標です。この日の授業では，地域や保護者の方々１０名にご参加いただきました。子どもたちは，昔の道具について調べたことを発表した後，地域の方が持ってきてくださった実物を見たり，使い方を聞いたりしながら，当時の暮らしついて学びを深めていました。

～～　研究授業（５年２組）　～～

総合的な学習の時間
米作りを通して双葉について考えよう

５年生は，社会科「未来を支える食料生産」の単元と関連づけ，「双葉の米作りの課題や解決に向けた取り組み」について，総合的な学習の時間で発展学習を行いました。ねらいは，『米作りの体験やフィールドワークと通じて双葉の米作りの課題を捉え，「地域とつむぐ授業」を通して，地域の課題解決のために自分たちでできることはないかを考え，実践する』ことです。この日の授業では，グループごとに，双葉の米作りを発展させるための方法について提案するとともに，地域における自分の生き方や地域との関わり方について考えました。ＪＡからゲストティーチャー２名の招聘し，それぞれの発表に対しての専門的なアドバイスをもらうことで，学習の振り返りや新たな視点をもつことができました。

～～　授業後の各ブロック分科会　～～

まず，それぞれの授業者から，これまでの具体的な活動の様子や授業を終えての反省等が話され，その後，６名前後のグループに分かれて成果や課題，改善に向けての方策等について話し合いました。『ねらいを達成するための地域やゲストティーチャーの方々の話・助言等があったことで，子どもたちの学習に深まりが見られた』『調べ学習や体験活動等これまでの学習の積み重ねが，主体的な学びにつながっている』等，実践してきた取り組みの成果が評価されました。また，県や市の指導主事の先生からも，『双葉西小は県下ＣＳのトップランナーであることを改めて感じた』『今後も，地域や保護者の方々とめざす子どもの姿を共有しながら，取り組んでいってほしい』とのご指導を頂きました。

これからも，学校運営協議会と学校支援地域会議（学校応援団活動）が両輪となって，子どもたちを主人公にした学びが推進していけるよう取り組んでいきたいと思います